

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: "PHYSIX POWER ELITE IV"

COLOR: 2TONE-PURPLE

COVER STOCK: NEX™ HYBRID REACTIVE

RG: 2.48 (LOW-MED/15P)  $\Delta$ RG: 0.053 (MID/15P)

FACTORY FINISH: REACTAGROSS

TRACK FLARE POTENTIAL: 5+ (HIGH)

BACK END: 18.0 (1-20) MAX LENGTH: 16 (1-20)

●	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

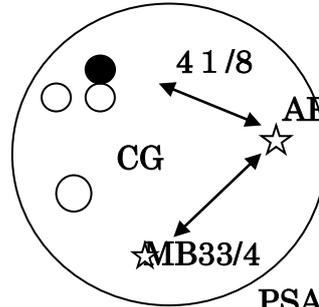


2024年2月9日

レイアウト例

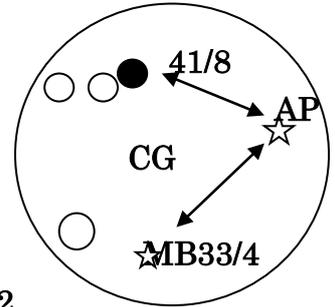
PHYSIX TOUR

PHYSIX PE IV



PSA 2

PSA 2

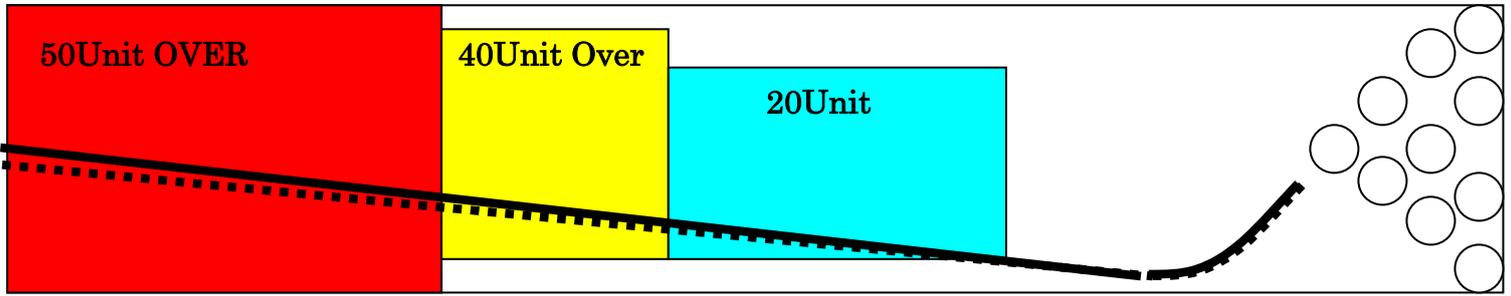


CA55度

CA55度

フラー幅 最大 6 1/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 1/2 ・ 間隔 1/8



0F  
比較品ライン

15F  
PHYSIX PE IV

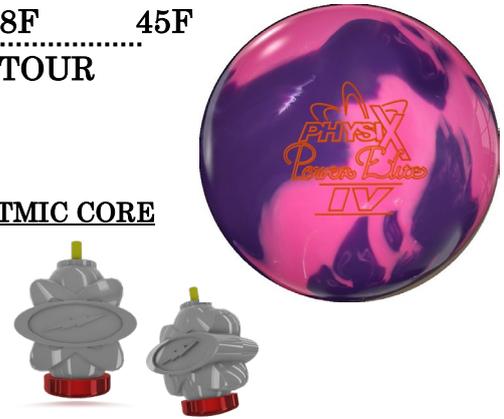
27F 38F  
PHYSIX TOUR

45F

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ	ATOMIC CORE
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5			
ピナクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						△	

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)



【ボール総合評価】

今作IVは、PHYSIX TOURと同じNeX™ハイブリッドカバーストックを使用していますが、パールの配合を増やしてレーン手前から全体的に行き足を良くしました。

しかし、オイルの段差は感じ難く調整出来ています。

それに、バックエンドのリアクションの程よい切れとパワーが増大しています。

【ここがポイント】



今回の NeX™ハイブリッドカバーストックは、レーン手前の走りが強調され、中盤からは程よい摩擦で安定した転がりを感じます。近年、レーン表面の傷み具合から起こるオイルの減少の早さと高回転ボウラーの増加からレーン変化が激しくなりがちですが、ブレイクポイントまでアトミックコアの力で安定して直進できるように設計されていますので、スコアメイクに繋がります。

フィジックスシリーズの中でも、パワーエリートシリーズは日本のレーン状況の攻略の為の優秀なボールで、ボウラータイプも選ぶこと無く投げやすさとハイスコアが魅力のボールです。

発売予定: 2024年11月中旬

テスト協力センター: アイビーボウル向島

テスター 石原 章夫プロ【HIGH SPORTS 専属契約プロ】